

佳作

## たのしみじつたひ

鹿児島県 霧島市立国分南小学校一年 鎌田 葵士

ぼくは、このひをずっとたのしみにまっています。

八がつ十五にちは、かぞくみんなあさからじゅんびでドタバタおおいそがしです。きょうは、わがやにえいがかんがオープンします。

なつやすみにえいがをみにいきたかったけれど、コロナがすこししんぱいとかぞくにいわれたので、ぼくはかんがえました。

「それなら、いえでえいがかんごっこをしようよ。」といったら、さんせいしてくれました。かぞくみんなでやりたかったので、おとうさんのしごとがやすみの八がつ十五にちにしました。

おにいちゃんが、パソコンでかんばんをつくってくれました。えいがかんのなまえは、「AOシネマ」です。ぼくがすきなイラストもいれてくれて、かっ

こいいかんばんができました。

おねえちゃんは、チケットをつくってくれました。じょうえいじかんもかいていて、きりとれるようになっていましたので、ほんものみたいでした。

かみコップにポップコーンとジュースをいれて、カーテンをしめてへやをくらくしたら、じゅんびかりょうです。

おきやくさんやくのおとうさんとおかあさんとぼくは、チケットをもってリビングにはいりました。

えいがかんのひとやくのおにいちゃんからジュースとおかしをもらって、おねえちゃんにチケットをわたしました。テレビのまえのソファにすわったら、じょうえいかいしです。きょうみるえいがは『めいたんていコナン えどがわコナン』しっそうじけんしじょうさいあくのふつかかん』にしました。

へやをくらくして、ポップコーンをたながらえいがをみたら、えいがかんにいるみたいでしたのしかったです。ぼくのやりたいことにかぞくがさんせいしてくれて、じゅんびのためにみんなでかいものになったり、へやのかざりつけをてつだってくれたことが、とてもうれしかったです。

しんがたコロナウイルスがはやって、いつもマス

クをしないといけなかったり、きゅうしょくのときにせんせいやおともだちとはなしをしてはいけなかったり、これまでのようにできないことがいろいろあります。でも、くふうをすればたのしいこともたくさんあるとおもいます。

いつもなつやすみには、おじいちゃんのいえがあるあまみおおしまにいったのに、コロナがはやってからことしもあそびにいくことができなくて、とてもざんねんでした。

でも、ぼくのしょうがっこうはじめてのなつやすみには、「かぞくでえいがかんオープン」というたのしいおもいでができました。

はやくコロナがおさまって、らいねんのなつやすみにはあまみおおしまのうみで、たくさんおよげたらいいとおもいます。